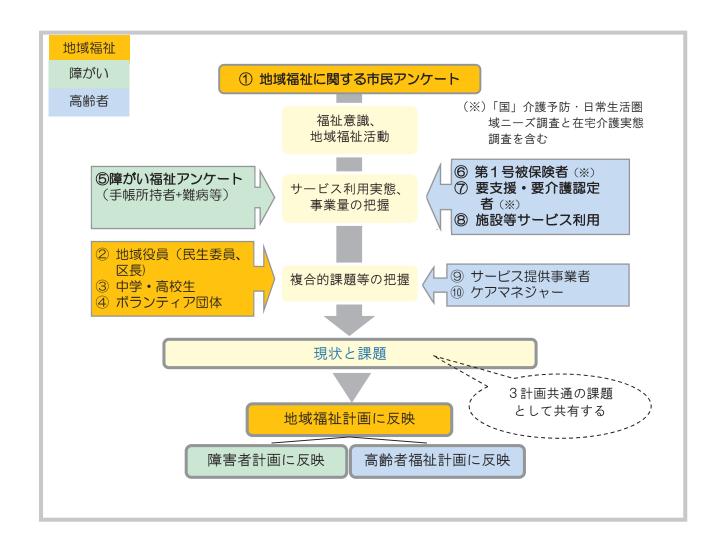
アンケート調査項目について(一覧)

「① 地域福祉に関する市民アンケート」を中心軸に位置づけ、それぞれ対象者別のアンケートでサービス利用実態や事業量の把握、複合的課題等の把握を行い、地域共生社会の実現に向けた現状と課題を共有のうえ、それぞれ3計画に反映させていきます。

福祉3計画で実施するアンケートは合計10種類です。

「調査対象者について」

- ・地域福祉に関する市民アンケート(市民 2,000 人)は、総合計画後期基本計画で行うアンケート及び障がい者、高齢者アンケートの対象者を除いて重複しないよう配慮します。
- ・障がい福祉アンケート及び高齢者アンケートの対象者は、サービス事業量を把握する観点から重複する方もいます。
- ・アンケートは、質問紙もしくはインターネットのどちらかを使って回答いただきます。



①地域福祉に関する市民アンケート

▶市民2,000人(抽出) 前回と同一の設問は、比較検討が可能です。

今回	調査項目	前回	備考
	I 基本属性		
問 1	性別	問1	選択肢を追加
問 2	年齢	問2	令和5年7月1日基準
問3	居住地区	問3	中学校区で区分可能
問 4	家族構成	問4	
	Ⅱ 地域とのつながり		
問5	定住意向	新規	
問 6	ご近所付き合い	問5	
問7	ご近所による支え合いの必要性	問6	
問7-①	必要性を感じない方の理由	問6-①	該当者のみ
問8	地域で気になること問題と感じること	問7	選択肢を変更
	Ⅲ 地域共生社会について		
問 9	「地域共生社会」という言葉の認識	問11	選択肢を追加
問10	困りごとの相談先	問12	
問11	困っている方に対して出来そうなこと	問14	
問12	知人等の困りごとを市や社協につないだ経験	問13	質問文を変更
問13	市や社協に相談窓口があることの安心感	問21	
問14	地域活動やボランティア活動の参加経験	新規	
問15	地域活動やボランティア活動の関心	問15	
問15-①	ボランティア活動等の情報入手先	問15-①	該当者のみ
問16	ボランティアセンターの認知度	問16	
問17	ボランティア活動の参加条件	問17	
	IV 地域福祉活動の推進について		
問18	担当地区の民生委員の認識	問18	選択肢を変更
問19	「潮来市社会福祉協議会(社協)」の認識	問20	指標として設定
問20	社協活動の認知度	問22	
	ア)地域福祉を担う中心的な組織	//	
	イ)住民の会費等で運営	//	
	ウ)福祉の様々な相談事業	//	
	エ)権利擁護事業	//	
	オ)市と連携・協力した活動	//	
問21	潮来市社協に期待すること	問23	選択肢を変更
	Ⅴ 安心して暮らせる福祉のまちづくり		
問22	「福祉」のあり方について	問25	指標として設定
問23	障がいのある人への差別や偏見	問27	
問24	成年後見制度の認識	問29	障害、高齢アンケートと一緒
問25	成年後見制度の利用意向	問30	障害、高齢アンケートと一緒 ※制度の説明概要を記載

BBOC	土の行列の取り部件	☆r+ 19	手屋が土揺の選択は
問26	市の福祉の取組評価	新規	重層的支援の選択肢
	ア)丁寧できめ細かな相談支援体制	//	
	イ)多様な社会参加に向けた支援	//	
	ウ)市民の主体的な活動の支援	//	
	エ)災害時の避難行動要支援者対策の充実	//	
	才)地域で支え合う仕組み	//	
	カ)居場所づくりの充実	//	
	キ)市民の福祉意識の向上	//	
	ク)情報提供の充実	//	
	ケ)福祉サービス提供事業者の充実	//	
問27	今後、力を入れるべき施策	新規	重層的支援の選択肢
	ア)丁寧できめ細かな相談支援体制	//	
	イ)多様な社会参加に向けた支援	//	
	ウ)市民の主体的な活動の支援	//	
	エ)災害時の避難行動要支援者対策の充実	//	
	オ)地域で支え合う仕組み	//	
	カ)居場所づくりの充実	//	
	キ)市民の福祉意識の向上	//	
	ク)情報提供の充実	//	
	ケ)福祉サービス提供事業者の充実	//	
	自由意見欄		

②地域役員アンケート

▶区長(66人:全数)及び民生委員・児童委員(72人:全数)

今回	調査項目	前回	備考
	I 基本属性		
問1	担当している地域役員	新規	区長、民生委員
問2	担当地区	問1	
問3-①	区長の経験年数	問2	
問3-2	民生委員の経験年数	//	
	Ⅱ 地域役員の活動について		
問4	区長、民生委員のやりがい	問3	
問5	区長、民生委員の負担感	問4	
問 6	地域で気になること問題と感じること	問10	市民と同じ(選択肢変更)
	Ⅲ 安心して暮らせる福祉のまちづくり		
問7	「地域共生社会」という言葉の認識	問7	市民と同じに修正
問8	「潮来市社会福祉協議会(社協)」の認識	問20	指標として設定
問 9	潮来市社協への期待	新規	市民と同じ、具体的に
問10	市の福祉の取組評価	新規	市民と同じに追加
	ア)丁寧できめ細かな相談支援体制	//	
	イ)多様な社会参加に向けた支援	//	

	ウ)市民の主体的な活動の支援	//	
	エ)災害時の避難行動要支援者対策の充実	//	
	オ)地域で支え合う仕組み	//	
	カ)居場所づくりの充実	//	
	キ)市民の福祉意識の向上	//	
	ク)情報提供の充実	//	
	ケ)福祉サービス提供事業者の充実	//	
問11	今後、力を入れるべき施策	新規	市民と同じに追加
	ア)丁寧できめ細かな相談支援体制	//	
	イ)多様な社会参加に向けた支援	//	
	ウ)市民の主体的な活動の支援	//	
	エ)災害時の避難行動要支援者対策の充実	//	
	オ)地域で支え合う仕組み	//	
	カ)居場所づくりの充実	//	
	キ)市民の福祉意識の向上	//	
	ク)情報提供の充実	//	
	ケ)福祉サービス提供事業者の充実	//	
	自由意見欄		

③中学生・高校生アンケート【WEBシステムを使用】

▶市内中学1~3年生及び潮来高校(600人程度)

今回	調査項目	前回	備考
問 1	学年	新規	中学生全員、高校生
問 2	福祉のまちづくりの必要性	新規	
問3	学校以外でのボランティア活動	問6	
問4	今後、取り組んでみたいボランティア活動	問7	選択肢を変更
問 5	ボランティアを活発にするために大切なこと	問8	選択肢を変更
問 6	悩みや困りごとを聞いてくれる友だちの有無	新規	
問7	悩みや困りごとの相談(相手)先	問12	
問8	あなたがお世話をしている人の有無	新規	ヤングケアラーの内容
問8-①	お世話を必要としている人	新規	該当者のみ
問8-2	お世話をしている日数	新規	//
問8-3	お世話をすることでの問題	新規	//
問8-④	お世話をすることを相談したこと	新規	//
問 9	将来、福祉関係の仕事の意向	問10	中学生は新規
問10	地域福祉の重点施策	新規	重層的支援の選択肢
	自由意見欄		

④ボランティア団体アンケート

▶ボランティアセンター登録等(40団体程度)

今回	調査項目	前回	備考
	Ⅰ ボランティア活動について		
問1	行っているボランティア活動(対象、内容)	問1	
問 2	ボランティア活動のやりがい	問2	
問3	ボランティア活動の課題や問題点	問3	
問4	今後、活動を強化したい点	問4	自由記述欄有
	Ⅱ 安心して暮らせる福祉のまちづくり		
問5	「地域共生社会」という言葉の認識	問5	市民と同じに修正
問6	地域で気になること問題と感じること	問10	市民と同じ(選択肢変更)
問7	潮来市社協への期待	新規	市民と同じ、具体的に
問8	市の福祉の取組評価	新規	市民と同じく追加
	ア)丁寧できめ細かな相談支援体制	//	
	イ)多様な社会参加に向けた支援	//	
	ウ)市民の主体的な活動の支援	//	
	エ)災害時の避難行動要支援者対策の充実	//	
	オ)地域で支え合う仕組み	//	
	カ)居場所づくりの充実	//	
	キ)市民の福祉意識の向上	//	
	ク)情報提供の充実	//	
	ケ)福祉サービス提供事業者の充実	//	
問 9	今後、力を入れるべき施策	新規	市民と同じく追加
	ア)丁寧できめ細かな相談支援体制	//	
	イ)多様な社会参加に向けた支援	//	
	ウ)市民の主体的な活動の支援	//	
	エ)災害時の避難行動要支援者対策の充実	//	
	オ)地域で支え合う仕組み	//	
	カ)居場所づくりの充実	//	
	キ)市民の福祉意識の向上	//	
	ク)情報提供の充実	//	
	ケ)福祉サービス提供事業者の充実	//	
	自由意見欄		_

⑤障がい福祉アンケート(手帳所持者+難病等)

▶身体・知的・精神の障害を有する方、難病患者(1,450人程度)、難病見舞金(160人程度)

今回	調査項目	前回	備考
	I あなたのことについて(封筒の宛名の方)		
問 1	調査票の記入者	問 1	選択肢を変更
問 2	性別	問 2	選択肢を追加
問3	年齢	問3	
問 4	現在の暮らし方	問4	
問 5	医療機関の受診状況	問5	
問 6	手帳や受給者証	問 6	
	◎手帳・受給者証の種類	//	該当者のみ
	◎等級	//	//
	◎身体障害者手帳の種類	//	//
問7	高次脳機能障害の有無	新規	国・基本指針に基づく
問8	強度行動障害の有無	新規	//
	Ⅱ 障害福祉サービスについて		
問 9	障害福祉サービスの利用状況	問7	
問9-1	利用している障害福祉サービスの内容	問7-1	該当者のみ
問9-2	利用している障害福祉サービスの満足度	問7-2	〃 選択肢を変更
問9-3	サービスを利用していない理由	問7-3	//
問10	今後(今後も)利用したいサービス	問8	(参考)障害福祉サービ
			スの主な内容説明を追加
	Ⅲ 教育や就労、日中の過ごし方について		
問11	平日の昼間の過ごし方	問 9	選択肢を変更
問12	平日の昼間の過ごし方の意向	問10	該当者のみ
問13	保育や教育に関する希望	問11	該当者のみ〈児童生徒〉
問14-1	収入を得る仕事の意向	問12-1	該当者のみ〈就労者〉
問14-2	障がいのある人が働きやすい環境	問12-2	//
	IV 外出や社会参加について		
問15	ひとりでの外出	問13	
問16	外出する頻度	問14	
問17	外出機会の意向	問15	
問18	楽しみや生きがいのある生活	問16	
問19	文化・スポーツ活動の参加	問17	
問20	地域や社会に参加するために大切なこと	問18	
	Ⅴ 相談・情報提供について		
問21	悩みや困りごとの相談先	問19	回答3つまで→すべて
問22	相談・情報提供に関して困ること	問20	
	VI 災害対策について		
問23	災害時の避難	問21	質問文を変更
問24	災害時に心配に思うこと	問22	選択肢を変更

	Ⅷ 安心して暮らせる地域づくり		
問25	差別や嫌な思いをした経験	問24	
問25-1	嫌な思いをした場	問24-1	選択肢を変更
問26	障害者差別解消法の認知	問25	
問27	した。	問26	
問 28	障がい者に対する地域づくり	問27	質問文を変更
問 29	将来の暮らしの意向	問28	
問 30	将来を考えたとき不安に思うこと	問29	回答3つまで→すべて
問 31	成年後見制度の認知	問30	
問 32	成年後見制度の利用意向	問31	
	Ⅷ 障がい福祉の取り組みの満足度		「わからない」を追加↓
問33	ア 障がいに対する理解	問32	質問文を変更
	イ ボランティアなど福祉活動	//	
	ウ 文化芸術・スポーツ活動	//	質問文を変更
	エ 学校などの福祉教育	//	
	オ 障がい児の学校教育	//	
	カ 障がい児の保育・療育	//	
	キ 働く場の確保	//	
	ク 健康相談、健康診査	//	
	ケ 医療やリハビリ体制	//	
	コ 点字や手話などによる情報提供	//	
	サ 障がい者の人権擁護	//	
	シ 相談窓口の使いやすさ	//	
	ス 災害時の避難支援	//	
	セ まちの移動の便利さ	//	
	ソ 公共施設の使いやすさ	//	
	タ 年金や手当の充実	//	
	チ 暮らしやすい住宅の整備	//	
	ツ 障がい福祉サービス制度の情報提供	//	
	テ 通所施設の整備	//	
	ト 入所施設や短期入所施設の整備	//	
	ナーグループの整備	//	
	ニ 障がい児の通所(預かり)施設の整備	//	
問 33	障がい者に対する取組みの重要性	問33	
	自由記述		

⑥第1号被保険者調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

➤ 65歳以上の市民1,000人 (要介護認定を受けていない方から無作為抽出)

- ○「日常生活圏域ニーズ調査」は、国が示す必須項目を中心に必要に応じてオプション設問を追加します。
- ○前回と同様に市独自の設問項目を加え、経年変化や指標に基づく評価の把握も可能とします。

今回	調査項目	必須項目	備考
	調査の記入者		
	基本属性等		
問1	性別	0	選択肢を追加
問2		0	
問3	地区	0	中学校区で区分可能
問 4	要支援認定区分	0	総合事業対象者と、要支援1・
	T 一一一一一一一一一一		2を区分可能とする
88 C	Ⅰ ご家族や生活状況		
問5	家族構成	0	
問6	主観的な介護の必要度	0	
問7	主観的な経済状態	0	
	Ⅱ からだを動かすこと		
問8	階段を昇ること	0	
問9	椅子から立ち上がること	0	
問10	15分位歩くこと	0	
問11	過去1年間に転んだこと	0	
問12	転倒に対する不安	0	
問13	週1回以上の外出	0	
問14	外出が昨年より減っているか	0	
問15	外出する際の移動手段	オプション	
	Ⅲ 食べること		
問16	身長と体重	0	
問17	半年前より固いものが食べにくいこと	0	
問18	歯の数と入れ歯の状況	0	
問19	共食の状況	0	
	Ⅳ 毎日の生活		
問20	物忘れ	0	
問21	1人での外出	0	自家用車「等」追加
問22	食品・日用品の買物	0	
問23	食事の用意	0	
問24	請求書の支払い	0	
問25	預貯金の出し入れ	0	
	V 地域での活動		
問26	会・グループの参加状況		
	(1)ボランティアのグループ	0	

	(2)スポーツ関係のグループやクラブ	0	
	(3)趣味関係のグループ	0	
	(4) 学習・教養サークル	0	
	(5)介護予防のための通いの場	0	
	(6) 高齢者(老人) クラブ	0	 「高齢者 を追加
	(7) 自治会(行政区): 町内会	0	「行政区」を追加
	(8) 収入のある仕事	0	
問27	地域づくりの活動の参加意向	0	
問28	地域づくりの企画・運営(お世話役)の参加意向	0	
	Ⅵ たすけあい		
問29	「たすけあい」の状況		
	(1)心配事や愚痴を聞いてくれる人	0	質問文を変更
	(2)心配事や愚痴を聞いてあげる人	0	//
	(3) 看病や世話をしてくれる人	0	//
	(4)看病や世話をしてあげる人	0	//
問30	家族や友人以外の相談相手	オプション	選択肢を変更
問31	友人・知人と会う頻度	オプション	
	VII 健康		
問32	主観的健康感	0	
問33	主観的幸福感	0	
問34	1 か月間に気分が沈んだこと	0	
問35	1か月間に物事に興味がわかないこと	0	
問36	飲酒習慣	オプション	質問を追加
問37	喫煙習慣	0	
問38	治療中・後遺症のある病気	0	
	Ⅷ 認知症の相談窓口		
問39	本人または家族の認知症の有無	0	
問40	認知症の相談窓口の周知状況	0	
	Ⅸ 高齢者福祉や介護保険等		市独自の設問部分 ()前回の問番号
問41	介護予防のために参加したい講座	独自	(問50) 質問文を変更
問42	認知症について関心のあること	独自	(問53) 質問文を変更
問43	健康や福祉の情報の入手先	独自	(問51)
問44	地域包括支援センター、高齢者総合相談センタ ーの認知度	独自	(問52) 指標として設定
問45	介護が必要になったときの意向	独自	(問46) 質問文を変更
問46	家族や身近な人への意向の伝達	新規	
問47	成年後見制度の認識	独自	(問54) 指標として設定
問48	成年後見制度の利用意向	独自	新規
問49	行政に期待すること	独自	(問55)
	自由意見欄		

⑦要支援·要介護認定者調査(在宅介護実態調査)

▶40歳以上の市民900人(在宅の要支援・要介護に認定されている方)

〇介護離職者の実態把握、仕事と介護の両立を進める観点から、在宅の介護者への調査(在宅 介護実態調査)の内容を加えます。

今回	夫忠調金)の内谷を加えまり。 調査項目	在宅介護実態調査の設問番号
	調査の記入者	(A票) 聞きとった相手
	基本属性等	
問 1	性別	要介護認定データ 選択肢を追加
問 2	年齢	要介護認定データ
問3	地区	要介護認定データ
問4	家族構成	(A票)問1
	Ⅰ 身体状況などについて	
問5	介護度	要介護認定データ
問 6	認知症の診断	要介護認定データ
問7	往診をしてくれる医師の有無	
問8	往診の利用意向	
問 9	福祉や介護についての相談先	
	Ⅱ 在宅サービス全般について	
問10	介護保険サービスの利用状況	(A票オプション)問13
問11	サービスを利用していない理由	(A票オプション)問14
	介護保険サービスの利用と評価等について	
問12	各サービスの利用状況等	ア)訪問系サービス
	①利用状況 ②量の評価	~才)住宅改修
問13	介護保険サービスの総合評価	指標として設定
	Ⅲ 施設入所の意向	
問14	施設入所の意向	(A票)問10
	Ⅳ 高齢者福祉や介護保険制度	
問15	認知症について関心のあること	⑥と同じ。質問文を変更
問16	家族や身近な人への意向の伝達	⑥と同じ。新規。
問17	成年後見制度の認識	⑥と同じ。
問18	成年後見制度の利用意向	⑥と同じ。新規。
問19	行政に期待すること	
	V 主な介護者の状況について	
問20	家族や親族からの介護の日数	(A票)問2 家族や親族から介護を受けていない方はここで終わり
問21	主な介護者	(A票) 問3
問22	介護者の性別	(A票)問4
問23	介護者の年齢	(A票)問5
問24	介護のために仕事を辞めた家族等の有無	(A票)問7
問25	介護者の勤務形態	(B票)問1
問26	介護者の働き方の調整状況	(B票)問2・該当者のみ
問27	就労継続の見込み	(B票) 問4 該当者のみ

問28	介護者が不安に感じている介護の内容	(B票)問5
問29	介護するうえで困っていること	
問30	介護者への支援で重要なこと	
	自由意見欄	

⑧施設等サービス利用者調査(居所変更実態調査)

▶介護保険施設やグループホーム等に入所している方:全数

○国の「居所変更実態調査」の内容を加えます。

今回	調査項目	前回	備考
	調査の記入者		
	基本属性		
問1	性別	問1	選択肢を追加
問 2	年齢	問2	
問3	要介護度	問3	
問4	認知症の診断	問4	
	I 入所している施設等		
問 5	入所している施設の種類	問5	
問 6	現在の施設の入所年数	問6	
問7	施設等の入所理由	問7	
	Ⅱ 入所している施設等の満足度		
問8	施設等サービスの満足度	問8	質問項目を精査
	(1)食事の内容について	//	
	(2)入浴について	//	
	(3)排せつの援助について	//	
	(4) レクリエーションについて	//	
	(5)外出について	//	
	(6)健康面の配慮について	//	
	(7)職員の対応について	//	
	(8)プライバシーの確保について	//	
問 9	施設等サービス全般の満足度	問 9	
問10	要望等の受け止め	問11	
問11	心配ごとなどの相談相手	問12	質問文、選択肢を変更
問 12	施設等サービスの改善希望	問13	質問文を変更
	(具体的な要望)		
	Ⅲ 今後の意向について		
問13	施設の退所や他施設への入所希望	問14	
問 13-①	居所変更を希望している施設	問15	該当者のみ
	自由意見欄		

⑨ サービス提供事業者調査【WEBシステムを使用】

▶市内のサービス提供事業者(15事業者程度)

○国の「介護人材実態調査」等を考慮し、設問を設計します。

今回	調査項目	備考
問1	法人の名称、所在地	
	事業を行っているサービス種別	訪問系、通所系、施設・居住系
問 2	今後の事業展開の予定	介護保険サービスメニューごと 規模拡大、現状維持、縮小、廃止、新規
問3	サービス名 主な内容	「規模拡大」や「規模縮小」、「新規」を 回答された場合
問4	事業所が現在抱えている問題点や課題 サービス名 主な内容	サービスごと
問5	施設入所者及び入所希望者数の増減	
問 6	居宅サービス利用者数の増減	
	介護人材について	
問7	1)事業所の介護職員の総数	正規職員、非正規職員
	2) 介護職員の採用者数と離職者数	過去1年間
	自由意見欄	

⑩ ケアマネジャー調査【WEBシステムを使用】

▶市内のサービス提供事業者のケアマネジャー50人程度

○国の「在宅生活改善調査」等を考慮し、設問を設計します。

今回	調査項目	備考
問1	ケアマネジャーの経験年数	
問 2	市に不足していると思われるサービス有無	
問 2-1	不足していると思われるサービス名	該当者のみ
問3	必要なインフォーマルサービス	回答5つまで→すべて
問 4	連携を取りたい機関・団体	回答5つまで→すべて
問 5	ケアマネジャーとして問題を感じていること	回答5つまで→すべて
	在宅生活改善について	
問 6	現在のサービス利用では、生活の維持が難しく なっている利用者の有無	
	1)世帯類型	該当者のみ
	2)現在の居所	//
	3)要支援·要介護度	//
	4)生活の維持が難しくなっている理由	//
	5)サービス利用の変更等	//
	自由意見欄	